

自己評価結果公表シート

令和元年度めぐみ白鳥こども園

1、園の教育目標

寺院より発祥した歴史的な基盤をもとに「あたたかい心の教育」を実践しています。それゆえに教育方針は「精神的には良寛上人に学び、その実践的技術は現代に学ぶ」を根底におき次のような「五つのちかい」により子どもたちの目標像を明らかにしています。

- 一、私たちは良き挨拶をする子どもになります
- 一、私たちは良きビジョンをもつ子どもになります
- 一、私たちは良く学ぶ子どもになります
- 一、私たちは良く感謝する子どもになります
- 一、私たちは良く奉仕する子どもになります

この「誓い」は仏教の「五正行」の教えをもとに考案し、子どもたち一人一人の生涯にわたる指針としても役立つものと考えています。

2、本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

- 本園の上記の方針に沿って、園児の「幼児期に育ってほしい 10 の姿」を、園生活を通して相互に関連を持たせながらバランスよく総合的に養う。語の数が増える幼児期に絵本に楽しむこと、絵本のコーナーを充実「童話・童謡」に親しみを持つ。又古くから伝わる、こどもの日、七夕、お月見、ひな祭りなどの年中行事を園全体の「集い」とし、影絵、人形を使用し、子供たちに親しみながら興味を持たせる。三輪車を体育遊びに導入しアクティブラーニングを取り入れ、ルールを守ること、体を使って遊ぶことの楽しさを知り、体力向上を目指す。
- 地域との連携に取り組む。
- 防災教育の充実を図る。

3、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	評価	取 組 状 況
保育内容及び指導のあり方等を精査し、教職員間の共通理解をはかる	B	<ul style="list-style-type: none">○ 保育内容を充実させるために毎週学年ごとに話し合い子供の信頼関係を築き、子供の発達・興味を理解しアクティブラーニングを用いて保育の展開をしていく。○ 日々の保育の延長上に「行事」(運動会・音楽会 etc)があること、経験することにより子ども一人一人が自信を持てるよう適切にかかわる。自由遊びの選択肢を増やすためにコーナー遊びを2学期より始める。○ 安全管理については各保育室、遊具の点検票を作成し行っている。防災意識を高めるため、避難訓練を毎月保育の中に取り入れている。○ 特別支援については一人一人個々により発達が違うので指導計画を立て時には、市の発達相談を踏まえ、また保護者の意見も重視しながら

		<p>個別支援計画を立てている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 食育については、野菜・果物を栽培し、収穫した作物を給食等で提供している。
教育の質の向上のために、園内研修を充実させる	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 絵画・制作では学年ごとに講師を招き、発達段階に沿った「あそび」を学び、子ども達に還元する。 ○ 表現遊びではリトミックを中心にリズムの会を開催し、他のクラスを見ることにより担任が学べる体制を採っている。 ○ 体育遊びは講師を招き、年間カリキュラムを作り行う。学期ごとに講師より研修を受けている。
保護者のニーズの把握に努め、要望や苦情に適切な対処を図る	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 懇談会、行事終了後の保護者よりの手紙や幼稚園評価アンケートを通して保護者のニーズの把握をする。(行事等での子どもの姿だけでなく普段の保育の様子を見たいという声により、クラスごとの記録を年2回スライドショーとして上映、また、3月の臨時休園のため登園できなかった年長組のため、DVDを作成、卒園式に上映、配布した。) ○ バスキャッチ導入により保護者の要望である保健衛生情報、例えばインフルエンザ、麻疹、水疱瘡等を手軽に知らせることが出来ている。 ○ 保護者の要望(クレーム等)は真摯に受け止め、園全体で把握、素早く対処し、終了で職員に共通理解をしている。 ○ 子供についての相談等、担任は時間の許す限り保護者とコミュニケーションを取るようにして信頼関係を築いていく。
地域社会との連携	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 園内で門真警察、守口門真消防署の方に防犯教室を開催、防犯や防災意識の向上を図る。 ○ 子育て支援事業を通して地域の人々と交流している。 ○ 盆踊り・花まつりと季節の行事に地域の方と交流している。
情報公開	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今年よりスタートした園なので園だより等 IT化を通して連絡アプリを活用し園の方針や教育活動などを伝えるように努めてきた。 ○ HP上に「情報公開」の項目を公開している。 ○ 子育て支援の日程を園の掲示板に掲載し、地域の方々に伝えている。

- A. 十分達成されている B. 達成されている C. 組み込まれているが、成果が十分ではない
D. 組み込みが不十分である

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

B	<ul style="list-style-type: none"> ○ 園の特色教育の充実に向け、自己点検、自己評価を実施することにより、更に日常の教育の見直しにつながった。今後も客観的に教育・保育を自らが捉えることにより、更に充実した実践が出来るように努力している。 ○ 日々の保育や行事の内容を検討し、見直していき、積み重ねを大切にしながら子供たちの自信や意欲につながるよう改善していく。 ○ 園が「子育て支援」の情報を掲示板等で発信していくことにより地域とのつながりや家庭との連携を深める。 ○ 基本的な生活習慣の自立に向け、年齢に応じて指導を継続的に行っていこうと考えてい
---	---

	る。
--	----

- A. 十分達成されている B. 達成されている C. 組み込まれているが、成果が十分ではない
D. 組み込みが不十分である

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
園に対する保護者の満足度の把握	保育内容については保護者の満足度が高いが、保護者からの要望により、行事時の注意喚起など、保護者同士のマナー向上に継続的に取り組んでいる。
子育て支援の充実	未就園児保育・園庭開放等子育て支援に加え、終了後も子育て相談を行い、適時アドバイスをする。
心を育てる教育	仏教園ならではの特徴性を生かし 1、教師や友達のかかわりを通して、思いやりや自己肯定感を育てていく 2、ルールやマナーを守り、相手の立場に立って考える等規範意識を育てていく。 上記を踏まえ、運動会・生活発表会・絵画制作展などの「行事」を通して、教師との関わりの中で自尊感情、自己有用感を育む。
教育・保育要領の改訂の方向性と整合性の確保	幼児期の終わりまで育ってほしい姿をアクティブラーニングの視点から保育内容を見直す為、職員研修の外部研修の機会を設けている。
インクルーシブ教育	様々な特性を持つ子どもと関わる中でお互いを認め合い助け合うことができるようクラスを編成し、思いやり、優しさを育てていきたい。 特別支援児の保護者とは、密接に話し合い理解を促す。
防災・防犯に対する意識の向上	880万人の訓練など、積極的に取り入れ毎日の避難訓練を通し、園児への防災教育は徹底してきた。 平常時から防災力の向上を図っていくため紙芝居を通して子どもたちに防災教育を図る。月に一度、訓練等を実施している。また警察署、消防署の方に実際に訪問してもらい、防災に対する訓練や実演などの講演等を実施している。

学校関係者評価

<ul style="list-style-type: none"> ● 3輪車をこども園でも配置したことによって、子ども達のバランス感覚を養い体力向上に繋がっていると感じました。 ● 絵本コーナーを各教室に配置しているので絵本を読む機会が増え、想像力が豊かになり色々なことに興味を持つようになったり、共通の話題として話がしやすくなった。 ● 地域との連携で、講演や音楽観賞を行っているところは、今後も続けてほしい。
